

平成 28(2016)年度

広島大学「平和科目」の中に、新たな「ひろしま平和発信領域」の授業が生まれた。

## 「ヒロシマ学」 担当：総合科学部教授 布川 弘

平成 28 年 6 月 13 日（月）

ヒロシマ学のガイダンスが行われた。

この授業は、平成 26 年度から歯学部で実施していた「ひろしま平和発信演習」のカリキュラムのなかの「集中演習（被爆体験のデジタル化）」にフォーカスして授業で行うもの。

総勢 100 名弱の学生が受講し今後体験談のデジタル化（文字おこし）に取り組む。

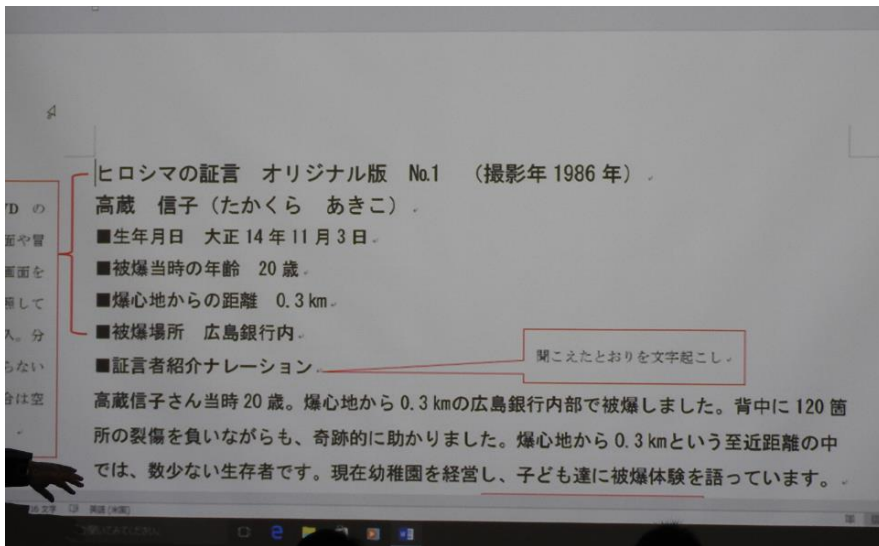
布川教授曰く「これは、私のライフワークとして今後も続けて行くつもりです。」とのこと。



オリエンテーションの様子



受講する学生の所属学部は総合科学部、文学部、法学部など様々。



デジタル化（文字おこし）の手法を学生に説明。



「被爆者の体験談は、被爆者の遺言だと思って、真摯に取り組んで欲しい。」  
布川先生の言葉は重い。



今後、広島平和記念資料館の見学も含め8月1日（月）まで授業が行われる。